

事前申込  
不要

参加  
無料



草刈りを  
手伝ってくれる？

祭りに参加  
してくれるの？

# 「関係人口」

ってなに？

なんで  
関わりたいの？

若い人たちも  
多いの？

松崎町では、移住だけでなく **「町民ではないけれど、外から来て地域活動に関わってくれる人々」** (=二地域居住者や関係人口と呼ばれる人々) を増やしていきたいと考えています。

今回は、**関係人口について、実例から学ぶセミナー**を開催します！

日 時

場 所

12月23日(火)  
18:30-20:15 (18:00開場)

松崎町環境改善センター  
2階大会議室

住所：松崎町宮内303-6

内容・登壇者情報は裏面へ→



「町外から来て地域活動に関わってくれる人たち」  
に関するアンケートを実施しています！

**セミナーに来られる方も、来られない方も、  
ぜひアンケートへのご協力を願いします**

↓回答フォームはこちら



オンラインのご回  
答が難しい方は、  
松崎町企画観光課  
でアンケート用紙  
をお渡しします

主催：松崎町第二のふるさとコンソーシアム（窓口：松崎町企画観光課 担当：齋藤一憲）

【電話】0558-42-3964

【メール】kankou@town.matsuzaki.lg.jp

# 「関係人口」ってなに？ セミナー

## 内容・登壇者

### ●関係人口に関する世の中のトレンド



山尾 信一

株式会社プレパラート 代表

2000年に広告制作会社入社後、大手企業ブランドや若者向け雑誌など様々な事業を担当。2018年から、旅行者、移住者、地方創生など日本のローカルの魅力を発信するマガジンハウス「コロカル」編集部に入り、2023年から2025年まで編集長。自治体のアドバイザーなども務める。

### ●飛騨市での取組事例



上田 昌子

飛騨市役所 企画部総合政策課

2017年1月より飛騨市ファンクラブの立ち上げに携わり、地域のファンを増やすべく業務を担当。飛騨市ファンクラブを発展させ、「ヒダスケ！」を開始。「未来のコミュニティ研究室」(FCL)では、複数大学と関係人口創出のメカニズム等について探究を行っている。地方公務員アワード2025受賞。

### ●下田市での取組事例



梅田 直樹

合同会社Squad 代表

下田市出身。下田で板金塗装会社を25年間経営し、(株)VILLAGE INC.、(株)LIFULL等を経て、現在、合同会社 local is beatで下田市・南伊豆町の関係人口事業や高校生キャリア教育プログラム等を運営するほか、合同会社 Squadで地方創生全般に取り組む。総務省「地域おこし協力隊」育成業務を下田市から担当。

### ●関係人口に関する制度の動き



佐藤 晋太郎

株式会社雨風太陽 政策共創担当

2013年に経済産業省に入り、「地域の人事部」政策の立案、石川県庁出向など地域政策に従事。兼業で京都府京丹波町の政策アドバイザーを務め、関係人口戦略策定やプロジェクト組成を官民連携で実施。現職では、全国自治体と関係人口創出拡大に取り組む。

皆さまのご来場をお待ちしております！

